



2022年1月31日

各 位

会社名 中 部 飼 料 株 式 会 社
(コード番号：2053 東証・名証第1部)
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 平 野 晴 信
問合せ先 取 締 役 管 理 本 部 長 井 藤 直 樹
(TEL：052-204-3050)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月20日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

◇業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|--------|--------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 177,500 | 5,500 | 5,850 | 4,100 | 136.59 |
| 今回修正予想 (B) | 192,000 | 4,000 | 4,350 | 3,100 | 103.22 |
| 増減額 (B-A) | 14,500 | △1,500 | △1,500 | △1,000 | |
| 増減率 (%) | 8.2 | △27.3 | △25.6 | △24.4 | |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 181,356 | 5,387 | 5,744 | 3,782 | 126.00 |

修正の理由

(1) 売上高

主力の飼料事業において、畜産飼料販売量は、昨シーズン大規模に発生した鳥インフルエンザからの回復が想定より遅れていることを受けて、計画を下回る見込みとなりました。一方で、畜産飼料平均販売価格は、原材料価格の高騰を受け上昇し、高水準で推移しております。減少要因より増加要因が大きいことから、売上高が計画を上回る見込みとなりました。

(2) 利益

飼料事業において、畜産飼料販売価格の値下げ決定後の原材料価格の高騰により、第3四半期に原料ポジションが大幅に悪化しました。第4四半期も第3四半期と同等の状況が続くことが見込まれます。また、畜産飼料販売量が計画を下回る見込みとなったことに加え、水産飼料の販売量減少及び原料価格の想定以上の高騰による利益率低下が見込まれます。以上のことから、利益が計画を下回る見込みとなりました。

(注) 本資料は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上